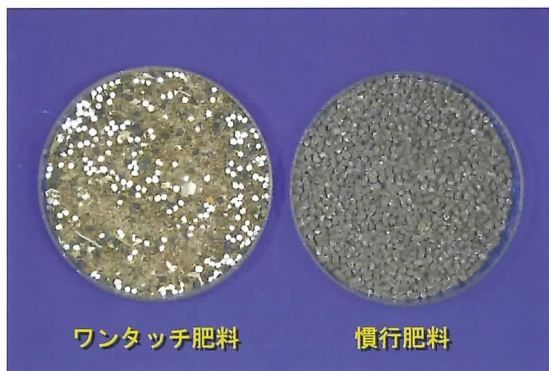


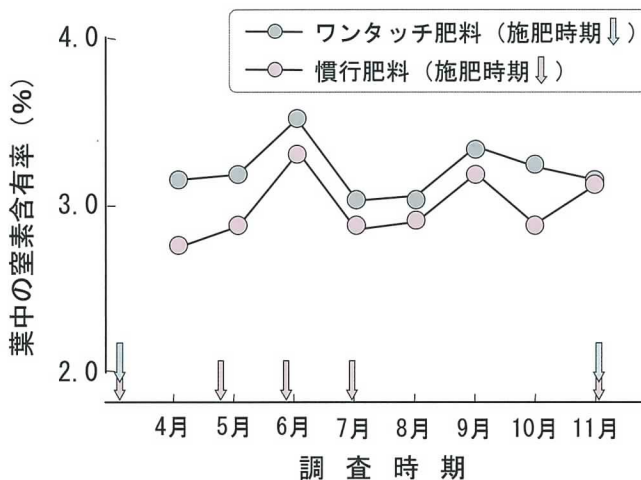
## 省力的で環境に優しいカンキツの施肥技術を開発



開発したカンキツ用ワンタッチ肥料 (左)

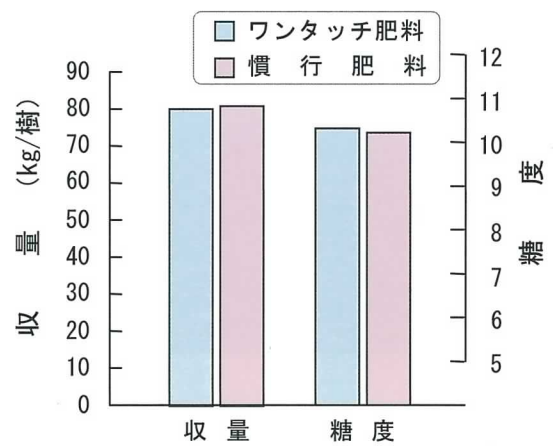


新しい施肥技術で栽培した中晩柑品種「はるみ」



肥料の違いが葉中窒素含有率の推移に及ぼす影響

(はるみ・ワンタッチ肥料の施肥量は慣行肥料の80%)



肥料の違いが収量・糖度に及ぼす効果

(ウンシュウミカン)

カンキツの施肥回数を大幅に減らすことのできる施肥技術を確立しました。複数の肥効調節型肥料を組み合わせたワンタッチ肥料と、施肥回数をウンシュウミカンなら年3回を1回に、中晩柑品種「はるみ」では年5回を2回に減らす施肥技術を開発しました。

開発したワンタッチ肥料は、肥料成

分の溶出が緩やかで安定しているため、樹体に効率よく吸収されます。そのため慣行の施肥に比較し、施肥量を20%削減することができます。また、果樹園からの肥料成分の流出も減らすことができるため、環境にも優しい施肥技術です。この技術は、愛知県経済農業協同組合連合会と共同開発しました。

(園芸研究部)